



# 下田市議会だより

2月  
令和6年  
(2024)  
No.89

- P 1 総務文教委員会行政視察報告
- P 2 産業厚生委員会行政視察報告
- P 3 友好都市交流 11月臨時会・12月定例会総括
- P 4 総務文教委員会審査報告
- P 5 産業厚生委員会審査報告
- P 6～8 市政を問う一般質問
- P 9 議案等の審議結果・編集後記

## 国際人材・地域貢献人材の養成、集落支援員の導入の検討、図書館のあり方と今後の取り組み

【訪問先】 長野県白馬村：一般財団法人白馬インターナショナルスクール、白馬村役場  
長野県小布施町：まちとしょテラソ（小布施町立図書館）

【期間】 令和5年10月24日（火）～26日（木）

### 【視察内容】

#### 1) 『一般財団法人白馬インターナショナルスクール』

下田市グローバルCITYプロジェクトの教育方針に基づく、持続可能な教育事業の誘致について

2021年に、学校建設用地となる11,000坪の土地を購入するとともに、学生寮となる宿泊施設を購入し、2022年9月に中高一貫として開校。2023年3月には、白馬高等学校とサーキュラーエコノミー（循環経済）のワークショップ開催。「白馬フォーラム」では、テーマを「学校教育の未来」とし開催。人と自然との絆を深め、アウトドア活動も実施し生徒たちが持続可能な世界の担い手となるよう教育活動を行っている。



【ペンションを活用した校舎】

#### 2) 『白馬村』

集落支援員導入の体制と今後の課題について

人口減少に伴い、地域の環境整備が以前より困難になったことから、平成29年度より導入。集落支援員は、地域の実情に詳しく集落対策を推進する人材を市町村が委託する制度で、国からの特別交付税により人件費等の必要経費が手当てされる。白馬村では、こうした支援員の導入をすることできめ細かな集落ごとの巡回・点検と、狭小道路をはじめ、住民の手の届かない社会資本設備の維持を行い住環境の維持向上に取り組んでいる。



【集落支援員制度の説明】

#### 3) 『小布施町立図書館まちとしょテラソ』

図書館の建設と取り組みについて

平成18年、誰にでも楽しめる図書館を目指して検討が始まり、平成21年7月に幼稚園跡地に開館した。『本と人をつなぐ学びの場づくり』本の福袋・スタッフお薦めコーナー・追悼コーナー・カフェコーナー。『本を介して人と人をつなぐ交流の場づくり』図書館まつり・読み聞かせ。『子育ての場づくり』お父さんの読み聞かせ・創作活動。

その他、まちじゅう図書館の展開をされ、子どもから高齢者まで、誰もが利用しやすく、授乳スペースや障がいをもつ方にも心遣いがあり多くの工夫がされた図書館であった。



【壁のない広々とした館内】

### 【総論】

白馬インターナショナルスクールの教育理念は『教育は地方創生の鍵』とし、その地で教育を受けた人が地元で活躍するという好循環につながるという考え方である。白馬村では、村と村民とのコミュニケーションを図るとともに集落支援員制度の導入により村の維持管理に活用されていた。まちとしょテラソでは、町民と作られたやさしい図書館であり人をつなぐ居場所を感じた。

下田市においても、国際人材と地域貢献人材の養成とともにインターナショナルスクールの誘致は今後の教育方針策定の重要な視点である。集落支援員制度においても、行政・市民の連携を強化し“つながる下田”、“安心して住めるまちづくり”構築のためにも同制度の導入の検討が求められている。図書館の検討においても、市民の声が反映された図書館建設は取り組むべき課題であると考えられる。

詳細は下田市ホームページ「令和5年度総務文教委員会行政視察報告書」へ →



## 小さな世界都市-Local&Global City-を目指す豊岡市の取り組み

**【訪問先】** 兵庫県豊岡市：一般社団法人豊岡アートアクション、豊岡市役所、城崎国際アートセンター、兵庫県立コウノトリの郷公園、但馬漁協

**【期間】** 令和5年10月18日（水）～20日（金）

### 【視察内容】

「小さな世界都市-Local&Global City-」を20年前から標榜し、取り組んできた豊岡市は、「グローバルCITY」を目指す下田市にとって、先進事例であり、どのような取り組みが行われてきたのか、具体的な施策を学ぶ。

#### 1) コウノトリを生かしたまちづくり

まちづくりにはストーリーが必要である。そこでコウノトリを柱にしたまちづくりを進展させてきた。コウノトリが暮らすためには、自然との共生が必要で、そこから有機農法での稲作が広がり、「コウノトリ育む米」が生まれた。この米は学校給食にも取り入れられている。また自然との共生を目指すことで、「環境経済戦略」が生まれ、循環型社会が作られつつある。そしてコウノトリの国際性が、価値観を同じくする世界のまちとの連携に結び付いている。

#### 2) 演劇のまちづくり

城崎国際アートセンター内にある演劇の稽古場を無償貸与することで、若年層の流入、演劇による学校教育の導入で子どもたちのコミュニケーション力アップ、「豊岡演劇祭」の開催で観光閑散期の需要喚起を行っている。また演劇への取り組みが、兵庫県立芸術文化観専門職大学の開校へとつながるなど、有形無形の影響が広がっている。

#### 3) インバウンド政策

城崎温泉では、外国人観光客が、平成23年には1,118人だったのが、平成31年には63,648人と8年間で55倍超と急増している。（令和5年度は1～6月で27,835人とコロナ禍から回復基調）豊岡TMOを観光シンクタンクと位置づけ、各種観光政策を行う中で、最新のモバイル統計を活用する等、確かなデータに基づいたインバウンド戦略を充実させることで、外国人観光客数の増加へとつながっている。

#### 4) 地域おこし協力隊の多数採用（令和5年度地域おこし協力隊活動人数46名、全国5位）と集落支援員制度の導入

地域おこし協力隊を積極的に取り入れることで、若年層の移住だけでなく、各産業分野において、貴重な戦略となっている。また29学区のすべてに集落支援員を採用し、地域の人手不足を補っている。（まちづくり協議会が母体）

#### 5) 但馬漁協の独自商品開発等

資源の有効活用のために、市場で値段の付きにくい海産物を、新しくできた商品開発部で商品開発している。なお、部員はすべて他地域からの移住者で新規採用。

### 【総論】

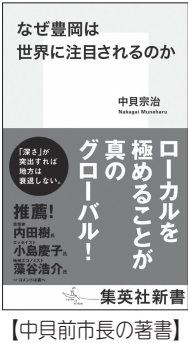
豊岡には、コウノトリを柱にした「まちづくりのストーリー」があった。

コウノトリという太い柱から、施策が枝となり、葉をなしている。中には太い枝に成長している分野もあり、そこには顔の見える職員、関係者たちの工夫と努力、最新の制度やテクノロジーの活用があった。

1)～5)まで、すべて下田市でも導入したい事例ばかりであった。

私たちは、我が町下田に、どんなストーリーを根付けられるのだろうか？

訪れたメンバーだけでなく、議員全員で、そして首長や行政職員、市民も巻き込みながら、考え、チャレンジし、一つずつ「グローバルCITY下田」を実現していきたい。



【中貝前市長の著書】



【中貝前市長と（一社）豊岡アートアクションにて】

詳細は下田市ホームページ「令和5年度産業厚生委員会行政視察報告書」へ →



## 友好都市「葉山町訪問」交流

令和5年11月20日から21日まで、葉山町を偶数番号議員と副議長で訪問しました。

葉山町議会の全議員に参加いただいた意見交換会では、那須町（御用邸所在地友好都市）とは、既に住民間の交流も行っており、体育協会を中心にサッカーやゴルフによるスポーツ交流がされているとの報告がありました。当面は物産展やイベントの開催に関する情報を共有し、民間主体で参加を検討していくこととしました。また、2年後を目安に定期交流の方法を確立していくことを確認しました。

## □ 11月臨時会総括

会期を11月22日のみの1日間とし、契約2件の議案が上程されました。いずれも予定価格2,000万円以上の新庁舎備品購入に係るもので、即決により全会一致で可決されました。

## □ 12月定例会総括

会期を12月6日から12月15日までの10日間とし、条例10件、補正予算7件、その他3件、意見書1件、決議1件の22議案が上程されました。また、一般質問では9名の議員が25件の通告内容に基づき、市政全般の課題等を問いました。

会期最終日、議会運営委員長を提出者とし、各派代表者を賛成者とする「带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について」及び「ガザ地区に平和をもたらす人道目的の即時停戦を求める決議」の議案を上程し、全議員が賛成し可決されました。

（※下記のとおり）

本定例会では、各条例改正、令和5年度補正予算、意見書提出等の22議案を原案どおり可決しました。なお、令和5年度一般会計補正予算（第5号）に対し提出された、一般廃棄物処理基本計画見直し業務委託の債務負担行為を削除する修正案は、賛成少数により否決されました。

### 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれており、激痛を伴うだけでなく、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチン接種が有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳などに障害が残ることもあるといわれている。

下田市内の医療機関のデータによれば、近年、带状疱疹の罹患者数が増加しており、また高齢者層の関心も高い。

そこで、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や、公費で希望者が接種できる予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

### ガザ地区に平和をもたらす人道目的の即時停戦を求める決議

ウクライナ戦争の終結を見ないまま中東で戦火がひろがりました。イスラム組織ハマスが行ったイスラエルへの攻撃と人質連行は明らかに国際法、国際人道法に違反します。また、イスラエル軍によるガザ地区住民に対する攻撃も国際法、国際人道法に反しており、双方共に戦争犯罪であります。

犠牲者の多くは女性と子供であり、国連安全保障理事会で、グテーレス事務総長も「どんな武力紛争でも民間人の保護が最重要だ」と強調しています。今、必要なのはイスラエルとイスラム組織ハマスの双方に、憎しみと暴力の連鎖を止め、人道目的の即時停戦に向けた交渉のテーブルにつかせることです。

下田市議会は、平成21年12月11日に世界平和の実現は人類共通の願いであるとする「下田市平和都市宣言」を行っており、市民と共にイスラエルとパレスチナの話し合いによる平和への共存を求め、中東に平和をもたらす人道目的の即時停戦と人質の解放を求めます。

以上、決議します。



令和5年12月定例会での主な審査項目です。

## 総務文教委員会

### 下田市総合福祉会館指定管理者の指定

下田市総合福祉会館の指定管理者を、引き続き社会福祉法人下田市社会福祉協議会とするもので、期間は令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間、指定管理料は5年間で、3,712万5千円を見込んでいます。

### 下田市過疎地域持続的発展計画の一部変更及び下田市過疎地域持続的発展基金条例の制定

令和3年9月に策定した、下田市過疎地域持続的発展計画の一部を変更するもので、変更の内容は、下田市過疎地域持続的発展基金を設置するものです。

過疎債のソフト分は単年度で活用していますが、基金を設置し積み立てることにより、年度を超えた柔軟な運用を行うものです。

### 下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 他3条例

上記の条例改正については、令和5年度人事院勧告を勘案し、給料および期末手当を増額する改定を行い、それぞれ遡及適用する所要の改正を行ったものです。

区 分	改正前	改正後
議員期末手当	3.15月	3.25月
特別職期末手当（市長、副市長、教育長）	4.00月	4.10月
一般常勤職員期末勤勉手当	4.40月	4.50月
一般常勤職員給料	平均改定率0.82%	

### 繰越明許費 新庁舎等建設推進事業

3,860万円

旧校舎活用棟整備工事のうち、エレベーターの基礎杭及びエレベーター機器の納入に遅れが生じ、年度内の完了が困難となったため、工事費及び監理業務の一部を来年度に繰り越すものです。令和6年4月に予定されている先行移転には、影響はありません。

### ふるさと納税推進事業

3,150万円

ふるさと応援寄附の増額に伴い、返礼品購入費2,250万円及びシステム使用料900万円を増額します。今年度末の寄附金受領額は、昨年度の3億5,400万円を超え、過去最高の4億5,000万円となる見込みです。

### 物価高騰対応重点支援給付金

2億1,700万円

国の経済対策で、交付金を活用し、住民税均等割が非課税の世帯に対し、1世帯当たり7万円、3,100世帯分、総額2億1,700万円を給付します。システム改修等の都合により、給付は2月下旬から3月上旬を見込んでいます。

### 図書館管理運営事業 移動図書館車購入費及び関連経費

▲529万2千円

移動図書館車を購入する予定となっておりましたが、入札不調により、車両の購入を取り止めたものです。

総務文教委員会では、この減額補正予算について、入札不調の原因を究明し、事業執行に当たっては特段の慎重を期すよう強く求める旨の附帯決議を決定しました。



令和5年12月定例会での主な審査項目です。



## 下田市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定

下田市下水道事業は平成27年1月27日付け総務大臣通知に基づき、令和元年度より地方公営企業法の財務規定のみ適用し公営企業会計に移行しましたが、平成31年1月25日付け総務大臣通知により、人口3万人未満の市区町村の集落排水事業についても令和5年度までに公営企業会計に移行することの必要性が示されました。

このことから、漁業集落排水についても、産業振興課から公営企業会計を行っている上下水道課に事務の移管をすることで業務の効率化を図るものです。

併せて、法の全部適用をしている水道事業と財務規定のみを適用している公共下水道事業が混在する二重構造を解消するため、公共下水道事業及び漁業集落排水事業についても法の全部適用を行うものです。

項目	公営企業会計	官公庁会計
収支区分	収益的収支及び資本収支	歳入及び歳出
認識基準	発生主義（取引の発生で認識）	現金主義（現金の動きで認識）
簿記形式	複式簿記	単式簿記

## 下田市下水道条例の一部を改正する条例の制定

下田市の下水道は、共用開始から31年目を迎え、施設老朽化に伴う更新、企業債の償還、物価高の影響等により事業費は増加し、一般会計からの繰入金も高止まりしている現状にあり、安易に一般会計に依存することは、市財政全体に大きな影響を与えることが想定されることから、適正な下水道使用料とするため、現行使用料（平成20年4月1日施行）を見直すものです。

下水道使用料については、少なくとも維持管理費と使用料の指標である経費回収率100%を目指していくべきものと考えます。大幅な下水道使用料の改定は受益者の大きな負担となってしまうため、今回は、今後5年で使用料単価が150円/㎡を下回らないよう、20%程度の値上げをお願いするものです。

水量区分	現行の使用料	令和6年4月1日以降
基本使用料（0～10㎡）	1,000円/月	1,200円/月
超過使用料（11～20㎡）	120円/㎡	150円/㎡
超過使用料（21～50㎡）	130円/㎡	160円/㎡
超過使用料（51～100㎡）	140円/㎡	170円/㎡
超過使用料（101～200㎡）	150円/㎡	180円/㎡
超過使用料（201㎡～）	160円/㎡	190円/㎡

## 下田市田牛漁業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

田牛漁業集落排水処理施設は処理方式や施設規模の見直しといった経営改善に取り組んでいますが、総務省から下水道事業が最低限行うべき経営努力として、1㎡当たり150円の使用料を徴収するよう通知されていることや平成20年以来15年間見直しが行われていないことから、事業の健全な運営を確保し、集落の衛生環境を保全していくため、現行の使用料を見直すものです。

使用料改定の方針に基づく推計の結果、維持管理費に対する経費回収率を100%にするためには、現行の使用料を5倍以上とする大幅な改定が必要となり、利用者に対する急激な負担増となることから、今回改定する使用料の額は、公共下水道の改定使用料に準ずるものです。

また、地区説明会及び公共料金等審議会において、段階的な改定の要望があったことから、

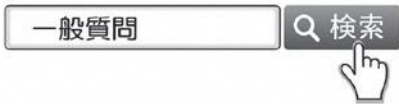
令和6年度から令和8年度までは現行の下水道使用料と同額に改定し、令和9年度以降は、改定後の下水道使用料と同額に改定するものです。

水量区分	現行の使用料	令和6年4月1日から令和9年3月31日	令和9年4月1日以降
基本使用料（0～10㎡）	900円/月	1,000円/月	1,200円/月
従量使用料（11～20㎡）	100円/㎡	120円/㎡	150円/㎡
従量使用料（21～50㎡）	110円/㎡	130円/㎡	160円/㎡
従量使用料（51㎡～）	120円/㎡	140円/㎡	170円/㎡

# 市政を問う一般質問



下田市役所ホームページから「一般質問」で検索していただくと各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。



## 岡崎大五 議員



【動画】



①黒潮の大蛇行によって海藻が枯れる磯焼けが発生し、アワビやサザエの不漁は、年々深刻さを増しています。そこで、まずは下田市沿岸の海藻の調査を実施し、ゼロベースのデータを作成します。より可能性の高い地域に海藻の移植を行うと同時に、このデータをもとに、森林の1.6倍ものCO2を吸収する海藻の増大で、CO2排出取引ができるのです。これをJブルークレジットといい、伊豆漁協等との協働による事業推進を要望

- ①エコツーリズムとJブルークレジット事業による磯焼け対策
- ②観光の通年化とインバウンド政策の推進
- ③空き家バンク事業の改善策
- ④朝日地区放課後児童クラブの移転について



【会議録】

しました。  
 ②静岡県で始まった「静岡県データ分析プラットフォーム」のデジタルデータをもとに、インバウンドも含めた戦略的な観光対策を要望しました。  
 ③スタートして5年目となる空き家バンク事業の見直しと、人気の空き店舗活用事業補助金の利用拡大等、さらなる移住促進について質問しました。  
 ④外遊びができない朝日地区放課後の児童クラブ環境改善を、移転も含めて、検討していただけるよう申し入れました。

## 浜岡 孝 議員



【動画】



①集落支援員（コミュニティ・サポーター）制度を導入することを改めて訴求しました。過疎地域の集落対策としてのみならず、地域や街の活性化に向けて幅広く対応できる制度であり、人件費を含む活動の経費は特別交付税として財政措置される仕組みで自治体が費用負担することはありません。そのような有利な制度を早期に導入すべきではないでしょうか。  
 ②活力ある社会創りに取り組む主体的な市民の団体／個人を繋ぐネットワークを強化し、活動の見える化、

- ①集落支援員（コミュニティ・サポーター）制度の導入
- ②市民活動を促進し行政のリエゾンとなる中間支援組織の創設
- ③Uターンを促す奨学金返済支援補助金制度の創設



【会議録】

情報の共有化を推進し、協働を進めるためのプラットフォームとして中間支援組織を創設することを訴求しました。集落支援員制度の導入と合わせ、街づくりの新たな原動力となりえるのではないのでしょうか。  
 ③若者が大学や専門学校等を卒業後、下田市にUターン・定住することを促し、市内企業や社会福祉施設等の人材確保を図ることにもなる施策の創設を訴求しました。働きながら奨学金を返済する下田市出身・居住の方に返済支援補助金（例えば月1万円を5年間）を交付することにより、Uターンのモチベーションの一つになりえるのではないのでしょうか。

## 鈴木 孝 議員



【動画】



①下田市は、下田市地域公共交通計画を策定し、公共交通機関の利便性、発展を進めています。  
 この計画には、令和8年度に新庁舎の移転の予定があることをふまえ、下田市の各地区から新庁舎へのスムーズに行くためのバス路線の検討も計画に入っています。  
 令和6年度に市役所の一部移転がされる事により、下田市の各地区から新庁舎に行くためのバス路線の検討は、どのようになされているか

- ①下田市地域公共交通計画（路線バス計画）の進捗状況について
- ②公園整備に係る下田市の取り組みと今後の整備方針について



【会議録】

を伺いました。  
 ②昨年度、まどが浜海遊公園と敷根公園に児童用遊具が設置され、多くの親子がこの遊具を利用し、楽しんでいる様子が見られます。  
 今後、市民の評価、意見を聞く機会を設け、要望があればさらに遊具を増やすなど、より良い公園整備の考えがあるのかを伺いました。  
 また、今年度緑の基本計画策定業務を実施していますが、緑の基本計画と公園整備とはどのように関連するものなのかお聞きしました。

## 天野美香 議員



【動画】

- ①防災における現状と今後・女性の参画について
- ②人と動物の愛護と共生について



【会議録】

①地球温暖化・土砂災害と自然災害が多く、地震津波においても明日のこととして備える必要があることから、【1津波浸水区域への避難タワーの考えは】【2避難場所にはどのような備蓄品があり、トイレ等の対策は。ドローン・オフロードバイクの導入の検討は】【3平滑川の水門について】【4防災教育の現状】【5女性の参画への方針】など、一人一人が備えることが重要ではあるが、市民が安心して過ごせるよう

行政による明確な対応について質問しました。  
②動物愛護推進のもと、ペットとの関わり方や、他動物との関連性を含め【1多頭飼育について】市内の問題として【2繁殖を招く可能性があり、地域の課題である餌やりについて】【3TNR活動を通してボランティア団体との今後の連携について】どのような対策をお考えかを尋ねました。防災においても動物との関わりも命と向き合う大切なことであり、市としての重要な課題として二つの質問をしました。

## 土屋 仁 議員



【動画】

- ①現庁舎跡地の活用計画の検討状況について
- ②伊豆縦貫自動車道河津下田道路の整備促進について
- ③指定緊急避難場所等について
- ④松本市長の政策の自己評価と次期市長選挙について



【会議録】

- ①新庁舎整備事業については順調に進捗しているが、現庁舎跡地を含む下田駅周辺地区整備はどのように検討されているかについて質問しました。
- ②河津下田道路の今後の市内区間の工事の見込み、市内区間に計画されている5箇所のインターチェンジ周辺の整備、また、早期開通に向けて急務となっている、建設発生土の受け入れについて質問しました。
- ③下田警察署の建替え工事期間の仮庁舎として運

用される、指定緊急避難場所等に指定されている旧下田東中学校グラウンド及び同体育館の取扱いについて質問しました。  
④市長就任以来3年半が経過し、これまでの政策に対する自己評価及び来年に予定されている次期市長選挙に向けての考えについて質問しました。

## 江田邦明 議員



【動画】

- ①所有者不明及び管理不全な土地・建物への対応
- ②公共下水道、漁業集落排水、浄化槽、し尿処理事業の経営戦略



【会議録】

- ①不法投棄、不審火、害虫・害獣の増加、家屋倒壊、景観の悪化等、所有者不明や管理不全の土地・建物が、地域に様々な悪影響を与えていることから、令和5年4月より施行された「新たな財産管理制度」に対する取組み状況等について質問しました。◇旧下田富士屋ホテルや特定空き家3軒への対応状況、◇外浦と柿崎の間にある所有者不明の調整池堰堤の対応方針、他。
- ②人口減少や少子高齢化等、地域社会構造の変化

に伴い、下水道4事業の更なる健全化が求められていることから、生活排水処理というサービスの提供が同じであれば、利用者の負担も同じであるべき考えのもと、下水道4事業の最適化について質問しました。◇蓮台寺・河内地区の公共下水道整備方針、◇漁業集落排水使用料見直しの地区等への説明経過、◇公共下水道と合併浄化槽の年間負担額の違い、◇市町村設置型合併浄化槽事業、他。



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。



柏谷 祐也 議員



【動画】



少子高齢化や人口減少による地域のつながりなど近隣の人たちとの交流も年々減少してきており、コミュニティが希薄になる傾向が見られ、地域での支えあいへのニーズは高まっています。現在、さまざまな居場所・サロン等の活動に関わるあらゆる領域において、多くのボランティアの方々によって私たちの市民の暮らしが支えられており、民間と行政のそれぞれの役割による、パートナーシップによる推進が不可欠であり、多様化する市民ニ

市民の居場所づくりについて



【会議録】

ズに対応した居場所づくりには行政による公設常設の居場所が必要と考え、図書館の建替えにあわせ複合施設として常設の居場所を提案しました。今後、新しいコミュニティのきっかけづくりの居場所を中心とした市民による活動を、これからさらに活性化させていくために、当局の考える活動の場、環境づくりをどのように整えていくのか質問しました。

沢登 英信 議員



【動画】



④について 10月24日、市は、生活環境影響調査書に重大な誤りがあり、74箇所もの訂正をされました。第2回目の縦覧期間を11月6日から12月5日までとし、1市3町の住民への説明会を開かず、生活環境に及ぼす問題はないとしています。廃棄物運搬車両の搬入出計画が平均1日当たり22台を270台に訂正されました。平均ではなく、最大600台等と表示すべきです。光化学スモッグのオキシダントが環境基準をオーバ

- ①弥治川御獅子神社の再建について ②歴史まちづくり法を活用した取組みについて ③県道下田南伊豆線の拡幅と市道の整備について ④広域ごみ焼却炉建設と生活環境影響調査の問題について



【会議録】

ーしています。更に悪化し、目や鼻に健康被害が予想されます。

新炉の排ガス中のダイオキシン類の濃度を0.01ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nを0.1ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nに変更しましたが、下田市の炉は、0.3から0.4ng-TEQ/m<sup>3</sup>N排出しています。平田川のダイオキシンは、環境基準値の1pg-TEQ/Lを夏場1.6pg-TEQ/Lとなっています。調査箇所を増やし調査すべきです。中学校や認定こども園、敷根運動公園がある敷根に広域ごみ処理場を建設することは見直すべきです。

長友 くに 議員



【動画】



①その土地土地のお米・野菜・畜産物・魚等は、その地で暮らす生き物に必要な食材だと言います。外国から運ばれる食材は、健康に必要な要素が欠けると言われることから、下田市の地産地消の割合について質問をしました。また全国の学校給食の貧困も指摘されています。楽しく、味わいある食を提供するのも大切な教育と考えます。そのことが子どもたちの伸びしろにつながるのではないのでしょうか？憲法第26条の精神を体现するために、国が学校給食を無償化すべきと考えますが、まずは市の責

- ①地域自給圏を構築するために…循環型経済を目指して ②広域ごみ焼却場建設のための生活環境影響調査について



【会議録】

任で無償化を推進することの提言とその市の対応を質問しました。

②南伊豆町のイベント「平太さんと語ろう」で、本市二人の話を聞き、最初からゴミにしない工夫とゴミを燃さない処分の方法、これこそがゴミ問題の解決方法ではないかと思いました。上下水道課でも、「家庭ごみ、下水汚泥、食品残渣、家畜排せつ物、未利用間伐材等」をバイオマス資源として、これを利用する発電を考えています。市民が「燃やさないごみ処理方法」を心がけ、ゴミを出さない、燃やさない、有効活用する、この方向に意思を結集していきたいと提言しました。



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。

柏谷 祐也 議員



【動画】



少子高齢化や人口減少による地域のつながりなど近隣の人たちとの交流も年々減少してきており、コミュニティが希薄になる傾向が見られ、地域での支えあいへのニーズは高まっています。現在、さまざまな居場所・サロン等の活動に関わるあらゆる領域において、多くのボランティアの方々によって私たちの市民の暮らしが支えられており、民間と行政のそれぞれの役割による、パートナーシップによる推進が不可欠であり、多様化する市民ニ

市民の居場所づくりについて



【会議録】

ズに対応した居場所づくりには行政による公設常設の居場所が必要と考え、図書館の建替えにあわせ複合施設として常設の居場所を提案しました。今後、新しいコミュニティのきっかけづくりの居場所を中心とした市民による活動を、これからさらに活性化させていくために、当局の考える活動の場、環境づくりをどのように整えていくのか質問しました。

沢登 英信 議員



【動画】



④について 10月24日、市は、生活環境影響調査書に重大な誤りがあり、74箇所もの訂正をされました。第2回目の縦覧期間を11月6日から12月5日までとし、1市3町の住民への説明会を開かず、生活環境に及ぼす問題はないとしています。廃棄物運搬車輛の搬入出計画が平均1日当たり225台を270台に訂正されました。平均ではなく、最大600台等と表示すべきです。光化学スモッグのオキシダントが環境基準をオー

- ①弥治川御獅子神社の再建について ②歴史まちづくり法を活用した取組みについて ③県道下田南伊豆線の拡幅と市道の整備について ④広域ごみ焼却炉建設と生活環境影響調査の問題について



【会議録】

バーしています。更に悪化し、目や鼻に健康被害が予想されます。  
新炉の排ガス中のダイオキシン類の濃度を0.01ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nを0.1ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nに変更しましたが、下田市の炉は、0.3から0.4ng-TEQ/m<sup>3</sup>N排出しています。平田川のダイオキシンは、環境基準値の1 pg-TEQ/Lを夏場1.6pg-TEQ/Lとなっています。調査箇所を増やし調査すべきです。中学校や認定こども園、敷根運動公園がある敷根に広域ごみ処理場を建設することは見直すべきです。

長友 くに 議員



【動画】



①その土地土地のお米・野菜・畜産物・魚等は、その地で暮らす生き物に必要な食材だと言います。外国から運ばれる食材は、健康に必要な要素が欠けると言われることから、下田市の地産地消の割合について質問をしました。また全国の学校給食の貧困も指摘されています。楽しく、味わいある食を提供するのも大切な教育と考えます。そのことが子どもたちの伸びしろにつながるのではないのでしょうか？憲法第26条の精神を体现するために、国が学校給食を無償化すべきと考えますが、まずは市の責

- ①地域自給圏を構築するために…循環型経済を目指して ②広域ごみ焼却場建設のための生活環境影響調査について



【会議録】

任で無償化を推進することの提言とその市の対応を質問しました。  
②南伊豆町のイベント「平太さんと語ろう」で、本市二人の話を聞き、最初からゴミにしない工夫とゴミを燃さない処分の方法、これこそがゴミ問題の解決方法ではないかと思いました。上下水道課でも、「家庭ごみ、下水汚泥、食品残渣、家畜排せつ物、未利用間伐材等」をバイオマス資源として、これを利用する発電を考えています。市民が「燃やさないごみ処理方法」を心がけ、ゴミを出さない、燃やさない、有効活用する、この方向に意思を結集していきたいと提言しました。



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。

令和5年11月臨時会 12月定例会 審議結果



発行 下田市議会  
編集 広報委員会  
住所 下田市東本郷一丁目5番18号

TEL 0558-22-2220  
FAX 0558-27-1511  
E-mail: gkajimu@city.shimoda.lg.jp

広報委員会  
委員長 鈴木 孝  
副委員長 土屋 仁  
委員 天野美香 岡崎大五 江田邦明

番 号	議 案 件 名	審 議 結 果
報 第 5 6 号	令和5年度（債務負担）下田市新庁舎備品購入（議会用備品）契約の締結について	原 案 可 決
報 第 5 7 号	令和5年度（債務負担）下田市新庁舎備品購入（執務用事務備品）契約の締結について	原 案 可 決
報 第 5 8 号	静岡県市町総合事務組合の規約の一部を変更する規約について	原 案 可 決
諮 第 5 9 号	下田市総合福祉会館指定管理者の指定について	原 案 可 決
議 第 6 0 号	下田市過疎地域持続的発展計画の一部変更について	原 案 可 決
議 第 6 1 号	下田市過疎地域持続的発展基金条例の制定について	原 案 可 決
議 第 6 2 号	下田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 6 3 号	下田市特別職の常勤職員給与支給条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
報 第 6 4 号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
報 第 6 5 号	下田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
報 第 6 6 号	下市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
諮 第 6 7 号	下田市水道事業の設置等に関する条例及び下市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 6 8 号	下市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 6 9 号	下市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 7 0 号	下市田牛漁業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議第71号~77号	令和5年度下市一般会計補正予算（第5号）【他6会計補正予算】	原 案 可 決
発議第4号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について	原 案 可 決
発議第5号	ガザ地区に平和をもたらす人道目的の即時停戦を求める決議	原 案 可 決

《賛否の分かれた議案》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：退席)

番 号	12月定例会議案件名	柏谷	大西	浜岡	土屋	長友	天野	岡崎	楠山	中村	渡邊	鈴木	沢登	江田	審 議 結 果
議第68号	下市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原 案 可 決
議第70号	下市田牛漁業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原 案 可 決
議第71号	令和5年度下市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原 案 可 決
	令和5年度下市一般会計補正予算（第5号）（修正案）	×	×	×	×	○	×	×	×	/	×	×	○	×	否 決

※議長（中村 敦）は可否同数の裁決以外は、表決に加わりません。

表紙の情報

表紙題字 下田高校書道部  
表紙絵 下田高校美術部



2月のバレンタインをテーマに、恋のキューピッドたちが空を舞う様子を、明るくワクワク感あふれるタッチで表現しました。また、今回は書道部が提供した題字を基にイラストを描いています。字体に合わせて和風なテイストに挑戦しましたので、これもぜひ注目してみてください。まだまだ寒い日が続きますが、少しでも温かい気持ちになれるようなイラストを皆様にお届けできれば嬉しいです。【塩田実礼 2月下田市議会だより表紙担当】

編集後記

コロナ禍から、ようやく日常に戻った感があります。昨秋には、多くのイベントが開催され、みなさんの笑顔が弾けていました。

加えて、この5年で下市内に新しい宿泊施設が70軒あまり、この2年で新店舗が20軒ほど誕生しています。この30年間立ち止まったままでいた下田でしたが、実は新しい時代が芽吹きはじめています。議会も変わってきています。ぜひ一度、議場にも足をお運びください。（岡）

下市議会の活動に役立てるため、市民の皆様の声を電話・メール・FAXで右記（欄外記載の連絡先）までお寄せください。



- この広報誌は、ユニバーサルデザインをコンセプトに開発された可読性・視認性・判別性に優れたUDフォントを使用しています。
- この広報誌は、再生紙を使用しています。

議会HP

